

2025年3月31日

各位

会社名 アライドアーキテツ株式会社  
代表者名 代表取締役会長 田中 裕志  
(コード番号: 6081 東証グロース市場)  
問合せ先 執行役員コーポレート本部長 水野 智博  
(TEL 03-6408-2791)

### 上場維持基準への適合に向けた計画について

当社は、2024年12月31日時点（以下「基準日」といいます。）において、東京証券取引所グロース市場の上場維持基準を満たさない状況となりましたことから、下記のとおり上場維持基準への適合に向けた計画（以下「適合計画」といいます。）を作成いたしましたので、お知らせいたします。

#### 1. 当社の上場維持基準への適合状況及び計画期間について

当社の基準日時点における上場維持基準への適合状況は下表のとおりです。

	株主数	流通株式数	流通株式 時価総額	流通株式比率	時価総額
当社の状況 (基準日時点)	4,519人 (適合)	91,366単位 (適合)	18.1億円 (適合)	64.1% (適合)	28.3億円 (不適合)
上場維持基準	150人	1,000単位	5億円以上	25%以上	40億円以上
計画期間 (改善期間)	—	—	—	—	2025年12月31 日まで

※当社の適合状況は、基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況をもとに株式会社東京証券取引所にて算出を行ったものであり、流通株式時価総額の計算に用いられた事業年度末以前3ヶ月間の最終価格の平均値は198.31円であります。

現在、経過措置適用期間中ではありますが、2025年12月31日までに基準適合を達成すべく諸施策を実行してまいります。そのため、本適合計画の計画期間を2025年12月31日までとしております。

#### 2. 適合計画の方針

時価総額は「発行済株式数×株価（企業価値）」で算出されます。本適合計画では、発行済株式数の増減など資本政策には依拠せず、企業価値の向上による株価の上昇を図ることを基本方針として掲げております。具体的には業績の回復と企業統治の強化により株式市場からの信頼を高め、株価を向上させることで時価総額基準の適合を目指します。

以上を踏まえ、本適合計画において当社は以下の3点を重点方針として取組を進めてまいります。

- ・業績回復の推進（売上拡大・収益性向上）
- ・ガバナンス・内部統制の強化（不適切会計対応における透明性の確保）
- ・IR活動の強化（投資家との継続的な対話の充実）

### 3. 具体的な取組内容

上記方針のもと、当社は時価総額基準への適合に向けて以下の具体的施策に取り組んでまいります。なお、事業計画及び成長可能性に関する事項につきましては、2024年12月期の決算の公表後速やかに開示する予定です。

#### (1) 売上拡大に向けた営業・マーケティングの強化

主力事業であるマーケティング支援サービスの拡販に注力し、顧客基盤の拡大と既存顧客の深耕を図ります。営業体制の強化や効果的なマーケティング施策の展開により、新規案件の獲得と取引拡大を推進し、持続的な売上高の成長を実現してまいります。

#### (2) 収益性向上策の徹底

収益力を高めるため、コスト構造の見直しおよび業務効率化を徹底します。具体的には、プロジェクト管理の効率化や間接費の削減などにより費用の最適化を図り、営業利益率の改善に努めてまいります。また、収益性の高いサービスや商品の開発・提供に注力し、事業全体の収益基盤の強化を目指します。

#### (3) 経営管理体制・ガバナンスの強化

企業価値向上の土台として、経営管理体制およびコーポレート・ガバナンスを一層強化いたします。2024年に判明した一部取引における不適切な会計処理に関する調査委員会の設置を受け、当社は速やかな事実解明と是正措置を講じております。本適合計画の期間中、再発防止策の徹底と内部統制制度の整備・運用強化を継続し、重要事項の開示における透明性確保に努めてまいります。これらの取組みにより、ステークホルダーの信頼回復と経営基盤の安定を図ってまいります。

#### (4) IR活動の強化と情報発信の充実

株主・投資家との建設的な対話を継続し、当社への理解促進と適正な企業価値評価に繋がります。引き続き適時適切な情報開示に努めるとともに、決算説明会や個人投資家向け説明会などを通じて当社の事業戦略・成長可能性を丁寧に説明してまいります。これらIR活動の充実により、市場からの信頼性向上と当社株式の評価向上を目指してまいります。

以上